

和合

No.148

2022. 9. 15

題字：三浦修次

主な掲載記事

- | | | |
|-----------------|-------------------------|----------------|
| ●和合の里あれこれ……………2 | ●はやぐおっきぐなれの～！…3 | ●おらほの行事食……………3 |
| ●よつばっこ通信……………4 | ●わたしが描く和合の里……………5 | ●わたしから見た和合の里…5 |
| ●畑にこんにちは……………6 | ●人生100年時代……………6 | ●わごう駐在所……………7 |
| ●和合館の取り組み……………7 | ●和合の里 INFORMATION……………8 | |

和合の里 あれこれ

【福島 編】

皇大神社

福島の皇大神社は、元和 6 年（1620 年）の創建と伝えられています。創建の際には、観世音菩薩の安置と同時に天照皇大神を勧請



↑ 皇大神社

し、合祀しました。

明治初期に、政府による神仏分離の政策によって仏教が排斥されると、明治 6 年（1873 年）4 月に観世音菩薩を末社とし、新たに天照皇大神を祭神とする皇大神社を設け、現在に至ります。

境内に立つ石鳥居は、大正 8 年（1919 年）4 月に執り行われた福島創立 300 年記念の際に、北海道上川郡神居村（現在は旭川市）に移住した方々から奉納されたものです。

また、昭和 44 年（1969 年）4 月には皇大神社 350 年祭、平成 31 年（2019 年）には 400 年祭が執り行われました。

馬頭観音講

馬は、動力機関（熱、水力、電力などを動力に転換、利用する機械）が発達する以前には、運輸や田や畑を耕すため大きな労働力として貴重な存在で、大切に扱われてきました。そこで馬を飼育する人々の間で馬の無病息災や供養のために馬頭観音に祈願する講ができたといわれています。

福島の馬頭観音講は 10 月末頃に 10 人ほどが部落公民館に集まり、馬頭観音の掛け軸を前に馬や住民の無病息災を祈願します。祈願後には直会を行います。現在は新型コロナウイルス感染症の影響で実施していませんが、今後の様子を見ながら開催を検討しています。

福島老人クラブ

福島老人クラブは 65 歳以上の住民で構成され、会員は 10 名ほどです。

神社の掃除やお墓の草刈り、除草剤散布などの活動を行い、部落にはなくてはならない存在です。また、約 2 年に 1 度のペースで県内外への会員研修会を行い、親睦を深めています。

花植え

5 月末の田植え後に全戸から 1 名と子ども会、老人クラブ合わせて 20 名ほどが集まって花壇に花植えをします。午前中から花植えを行い、昼にはすべての花壇に花が植え終わります。

新型コロナウイルス感染症が流行する前は花植えが終わった日の夕方に部落公民館に集まり、懇親会を開催していました。



↑ みんなで花植えをしました



↑ お花がきれいに咲いています

パパとママにインタビュー

はやぐおっきぐなれの～!

- ① 夢→将来実現させたい夢や希望をもってほしい。
都→周囲に人が集まるような人になってほしい。人生が繁栄するように、また、この先どんなことがあっても柔軟に対応できる子に成長してほしい。
- ② 音の出るおもちゃ。大人が食べているものに興味があり、口をパクパクさせながら、よだれをたらしています。



- ③ 四つん這いになって前に進もうとがんばっている姿や、上着を脱ぐときにいつもニコニコ笑っている顔がかわいいなど記憶に残っています。
- ④ 寝返りが始まった頃のうんちのオムツ交換は未だに手こずります。手足をよく動かすのでうんちがよくつきます。口に入れないようにしたり、他のところにつかないように気を付けています。
- ⑤ 元気にすくすく成長して、お友達をたくさんつくって、楽しい日々を過ごしてね。
毎日夢都の笑顔にいやされているよー。



ゆめと
工藤 夢都ちゃん
(古関)

令和4年1月27日生まれ

パパ：大樹(たいき) ママ：由佳(ゆか)

Q1 名前の由来は？ Q2 今一番の興味やはまってることは？ Q3 最近記憶に残ったエピソードは？
Q4 パパママの失敗談(子育てあるある) Q5 パパママからのメッセージ

おらほの行事食



ぼた餅

◆ 材料

○ぼた餅

- ・もち米 7カップ
- ・うるち米 3カップ
- ・水 10 3/5カップ
- ・小豆あん

○小豆あん

- ・小豆 5カップ
- ・砂糖 500g
- ・塩 少々

【秋彼岸】

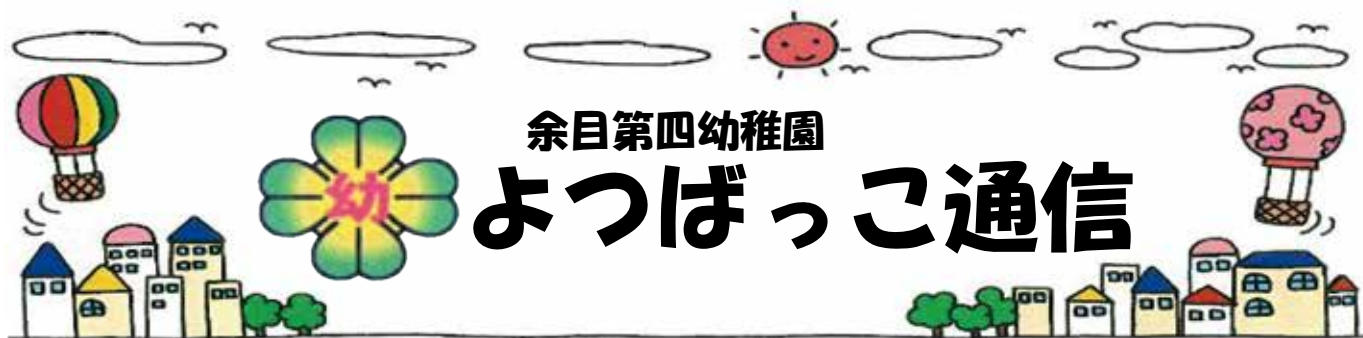
魔除けの効果があるといわれている小豆と当時貴重だった砂糖を使ったぼた餅をご先祖様へお供えし、感謝の気持ちや様々な願いを捧げます。

◆ ぼた餅の作り方

1. もち米は洗って一晩水につけ、ザルにあげて水気をきる。
2. うるち米は洗ってザルにあげ、水気をきる。
3. 1と2を混ぜ合わせ、炊飯器で炊く。炊き上がったら、水でぬらしたすりこぎで半つぶし状態までつぶす。
4. 粗熱が取れたら、卵大に握り、小豆あんで包む。

◆ 小豆あんの作り方

1. 小豆を2～3回よく洗い、約3倍量の水に入れ強火にかけ、ひと煮立ちしたら、ザルに取り煮汁を捨てアクを取る。
2. 1の小豆を鍋に戻し、約3倍量の水を加えて火にかけ、煮立ったら弱めの中火にして煮る。
3. 時々差し水をし、アクを取りながら、小豆が指でつまんでつぶれるようになるまで煮る。
4. 砂糖を2～3回に分けて加え、塩ひとつまみを入れて味付けし、煮詰める。
5. 小豆が半つぶし状態になるまで練りあげる。



夏はやっぱり水遊び！気持ちいい！

プール開きに始まり、第四幼稚園ではたくさんの水遊びを楽しんでいます。今年はなんと外国から？(笑)水の神様が来てくれて、水と仲良しになれる魔法をかけてもらい、水遊びを存分に楽しめるパワーをたくさんいただきました！水遊びしている時の子ども達の笑顔は最高です！



こ～んなこともやったよ！



絵の具を垂らしてストローで思いっきり「フッ！」「うわぁ～☺️」と感動！七夕の短冊になりました！夏野菜でお魚の体にスタンプ！「…レンコン。これピーマン？これは？」と、オクラの名前がなかなか出てこない子ども達(笑)星形のスタンプにまたまた感動！



余目第四小学校6年生

わたしが描く和合の里



き
ら
齋藤 葵羅
【連枝】

ぼくが描く「和合の里」は、たくさんの自然にあふれた場所です。今の時代は、建物が増えてきて自然が少なくなっている

ので、こんなに自然ゆたかなところは、そうそうありません。自然の中で、サッカーやバレー、木のぼりや山のぼりをするのはとても気持ちがいいです。十年後も二十年後もこの自然を保っていきたいです。



り
おん
穂積 凛音
【廻館】

私が描く「和合の里」は、いつも笑顔で地いきの人たちに自分から、すすんであいさつが

できることです。和合の里は、たくさんの木や草、田んぼ、そして虫がいるので、その自然を大切に、未来までのこせたらいいなと思っています。これからも、四小のみんなや、和合の里の人たちで、この自然を大切にしていきたいです。

わたしから見た和合の里

これから、和合の財産である子ども達が、地域のみな様に愛されて、健やかに育っていくことを願っています。手作り紙芝居も、機会があれば見てくださいね。

その姿が、とても微笑ましかったです。地域の皆さんの温かい愛情に守られて安心して遊んだ日々は、故郷の忘れられない思い出として、子ども達の心に刻まれることでしょう。

重ねた阿部亀治のことを、後生に伝えたいという地域の願いを感じさせられました。皆さんのおかげで良い作品ができ、庄内地区自作視聴覚コンクールで優秀賞を頂くことができました。特色ある活動として、放課後子ども教室「わごうの広場」がありました。子ども達は、とても楽しみにしていて、笑顔で第四公民館に駆けて行きます。



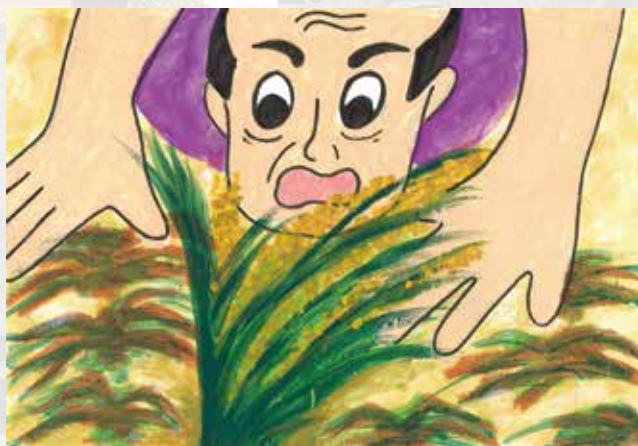
前 庄内町立余目第四小学校
養護教諭 中村 淑子

四

小に2年間お世話になりました。一番の思い出は、クラブの子ども達と「日本のお米の祖先・

亀ノ尾」の紙芝居を作り、公民館に置いて頂いたことです。

紙芝居を通じて、小出新田生まれで、冷害に強い米を作ろうと、苦勞を



↑紙芝居「日本のお米の祖先・亀ノ尾」の一幕

畑にこんにちは！

佐藤 昭治さん(西袋)



セミの鳴き声が響く暑い日。今回お邪魔したのは西袋の佐藤昭治さんの畑です。

畑にはとうもろこし、サツマイモ、スイカ、ネギ、小豆などが植えられており、すくすくと成長していました。

昭治さんは農業をしながら畑をはじめ、今の時期は、朝食前と午後 3 時 30 分頃から 5 時頃まで畑仕事をしています。

畑の様子を伺うと、とうもろこしにはカラスから食べられないようお米の芽出しに使うネットで覆ってありました。また、小豆も大きく成長し、実がついているものがありました。小豆は収穫できる

ものをひとつずつ見極めて収穫しています。

畑をしていて嬉しいときは思い通りに収穫できたときで、今年の夏はきゅうりと茄子がたくさん収穫できたそうです。反対に畑をしていて大変なときは思い通りに収穫ができないとき。今の時期はスイカの収穫時期に苦勞しています。うまくいかないときは畑仲間と情報交換をしながら解決しています。

暑いなか、笑顔でお話しいただきありがとうございました。



↑カラス対策でとうもろこしの実をネットで覆っています



↑ネギが大きく成長しています

人生100年時代

～楽しく運動してみませんか～

庄内町保健福祉課
高齢者支援係
主任 日向 唯



毎日暑い日が続いています。冷房を上手に使い、水分・塩分補給に注意して熱中症には十分お気をつけください。

私は高齢者支援係ということで高齢者向けの施策に携わっていきまして、高齢者の運動や社会参加の一つとして「いきいき百歳体操」をおススメしています。手首や足首に重りをつけ、椅子を使い、DVD を見ながらできる簡単な体操です。週 1 回以上継続して行くと筋力向上に効果があり、全国的に広がっています。

町では体操をやりたいグループに、体操の紹介、体力測定による効果測定、栄養士による講話など、活動の立上げ支援を行っています。集落の公民館などの自宅から歩いて行ける場所に定期的に通える所があると、ちょっとした外出の機会になり、閉じこもり予防にも効果的です。お友達を誘ってぜひやってみませんか。興味のある方は、保健福祉課高齢者支援係（電話 43-0490）まで御連絡ください。

高齢者に限らず、全年代共通して運動や社会参加は健康維持や心豊かな生活に重要なことだと思います。今はインターネットで様々な体操やヨガ等の動画を探すことができます。自分に合った形の楽しんでできる運動を見つけて、取り組んでみてはいかがでしょうか。



↑いきいき百歳体操の様子



庄内警察署
菅原 直樹
(第四学区担当)

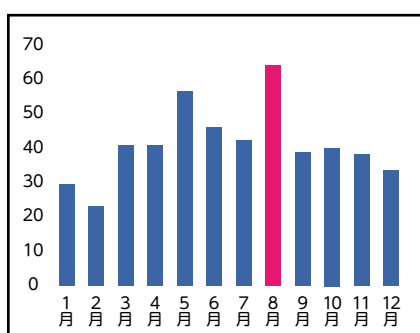
わごう駐在所

夏はぼんやり運転に注意！

ぼんやり運転は**重大事故**につながります！
ねむくなったら早めに休憩しましょう！

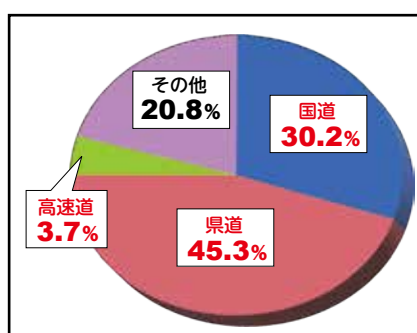
ぼんやり運転による **重大事故(正面衝突等)** の発生傾向 (過去5年間)

発生した月



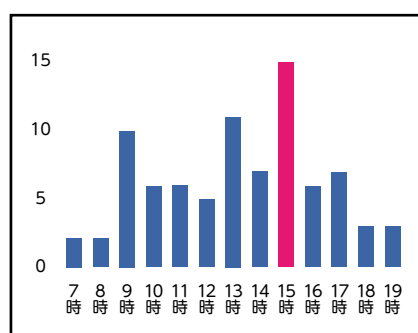
8月(夏休み時期)に多発！

発生した道路



幹線道路で多発！

発生した時間帯



昼食後や午後3時台に多発！

和合の里の取り組み ～和合の里あるき健康ウォーキング2022～

和合の里あるき健康ウォーキング2022が始まります。

余目第四まちづくりセンター「和合館」をスタート地点・ゴール地点として、

- Aコース 中野皇大神社コース
- Bコース 舟つなぎの松コース
- Cコース 南野皇大神社コース
- Dコース 前田野目農村運動公園コース の

4つのコースを選択して歩き、歩いた距離数に応じてお餅や商品券(ゆりカード)をプレゼントします。

詳しくは9月15日発行の広報「しょうない」にチラシと記録表を折り込みしますので、ご確認ください。

ご参加の際は、記録表と歩数計や歩数計測アプリ内蔵のスマートフォンをご持参のうえ、余目第四まちづくりセンター「和合館」までお越しください。

黄金の里を歩いて、健康寿命と商品券をゲットしよう!!



今年もきれいな花が咲いた和合の里

今年も和合の里に色とりどりの花が咲きました。

その一部を紹介します。

左上から廻館、南野、古関、
左下から前田野目、福島、吉方の花壇です。

水やりや草取りなど手入れが行き届いている花壇で、行く人達の心を癒しています。



和合の里一斉クリーンデー

8月1日を基準日として和合の里一斉クリーンデーが行われました。591名の皆様からご参加をいただき、道端に落ちている空き缶などのごみを拾い、和合の里をきれいにすることができました。

ご協力いただきありがとうございました。



亀ノ尾の里資料館第99回企画展

「奥山重右衛門コレクション展」

旧大和村古関（現庄内町古関）の奥山重右衛門家は、代々肝煎や村総代人などの要職を勤めた家柄で、庄内で1、2位を争う大地主でした。当館では、平成30年度から奥山重右衛門家に伝わる資料について和合の里の宝物として後世に伝えていこうと調査、整理を進めています。

今回の企画展は、数あるコレクションの中から狩野派の作品と山水画を中心に展示しております。江戸から昭和初期にかけて名を馳せた作家の作品をご鑑賞ください。

- ◆期間/令和4年11月27日（日）まで
- ◆時間/午前9時00分～午後4時30分
※11月10日（木）は清掃のため午後1時開館
- ◆入館料/無料

【入館の際のお願い】

新型コロナウイルス感染予防のため次の点にご協力をお願いします。

- ・手指の消毒とマスクの着用
- ・0密（密集、密接、密閉のすべてを避ける）
- ・展示物に手を触れない



編集後記

和合の里の暮らしや歴史・文化風景などを映し出す1枚をテーマに今年度も稲種「亀ノ尾」創選者阿部亀治記念和合の里フォトコンテストを開催します。

和合の里の魅力が詰まった写真を募集中です。皆さんの応募をお待ちしています。